

仁淀病院の経営改善は 答弁Ⅱ地域包括ケア病床の導入



森田 ちづこ 議員

町立の病院としての使命、また、どのような役割を果たしているのか。

平成28年度も赤字経営であるが、経営改善の取り組みを問う。

池田事務長補佐

地域の中核的病院として、総合的一般医療、高度・特殊医療などを行っており、行政機関、医療機関、介護施設などと連携し、地域に必要な医療を公平・公正に提供し、住民の健康を守り、地域の健全な発展に貢献することである。

仁淀病院では、外来に來られた患者さんには、本人、ご家族の意向を尊重し、急性期の一般病棟への入院から、慢性期となったときの介護療養病床への移行や、偕楽荘、清流苑への入所、あるいは

益の改善を図ったが、やはり経営改善には、常勤医師の確保が一番であり、現在常勤医師8人のうち、1人は放射線科医師で実質7人で、入院患者や、吾北診療所での診察、当直での救急医療を行っており、過酷な労働となっている。医療再生機構や高知大学の常勤医師の派遣要望を行っている。

自宅への訪問看護、在宅医療など、患者さんやご家族の意向に沿った医療・介護サービスの提供が行える体制を整え、維持していかなければならない。



仁淀病院

【仁淀病院】
・一般病床 52床(10:1)
・地域包括ケア病床 8床
・介護療養病床 40床

【訪問看護ステーション】
・看護師 3名
・理学療法士 2名
H28年度実績 訪問件数 3,848件

【地域連携室】
H28年度実績 紹介患者数
・仁淀病院 → 他病院 537件
・他病院 → 仁淀病院 988件

図書館の資料費と
多目的ホールの活用は
天王地区に図書館を

森田議員

伊野図書館は貸出冊数も6万9226冊と多く、館内は職員の創意工夫により、利用しやすく、雰囲気も良い。新刊図書がいつも貸し出し中で、予約件数が2845件と多い。資料費と購入冊数を問う。

また、地区民誰もが気軽に立ち寄れる図書館を天王地区にできないか。

山崎教育次長

平成28年度の資料費は、371万円で、人口一人当たり165円、県内の図書設置23市町村のうち16番目である。新刊図書をもっと多くと



伊野図書館



すべて貸出中の新刊図書

のことであるが、限られた予算であり、新刊図書は、貸出期間を短くするなど、工夫をしている。

2階多目的ホールは研修会や講演会、町民の生涯学習の場として活用している。

天王地区への図書館設置は、地域住民の要望に耳を傾け、慎重に検討していくべきと考えている。

その他の質問

- ・年度決算の不用額と繰越額
- ・基金と地方債について地域振興基金の使途は
- ・経常収支比率について